

標 題： Olive oil phenolics are dose-dependently absorbed in humans
オリーブ油のフェノール化合物はヒトで量依存的に吸収される

著 者： F. Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬学部)

掲 載 誌： FEBS Letters **468**: 159-160 (2000)

要 旨： オリーブ油のフェノール成分は *in vitro* で強力な生物学的活性を与え、抗酸化作用に限定されないと示されている。

現在までにこれらの化合物のヒトにおける吸収および処理に関する情報は無い。

オリーブ油のフェノール、すなわちチロソールおよびヒドロキシチロソールはヒトで摂取後に量依存的に吸収され、そしてグルクロニド抱合体として尿中に排泄されると、我々は報告する。

その上、フェノールの投与量が増加するとグルクロニドによる抱合の比率が高まった。

キーワード： オリーブ油、フェノール化合物、アテローム性動脈硬化、地中海食事、抗酸化物、ヒドロキシチロソール
